

2019年11月8日

各位

会社名 レイズネクスト株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉川善治
 (コード番号 6379 東証第1部)
 問合せ先 経営企画部長 小林 敬典
 (TEL045-758-1950)

2020年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年9月26日に公表した2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

あわせて、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期の業績予想について、下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	65,000	2,700	2,900	1,850	34.15
実績値 (B)	58,216	4,202	4,332	8,327	165.83
増減額 (B - A)	△6,783	1,502	1,432	6,477	
増減率 (%)	△10.4	55.6	49.4	350.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	43,789	3,588	3,706	2,449	52.98

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	61,000	2,300	2,500	1,700	31.38
実績値 (B)	53,300	3,499	3,632	7,983	158.98
増減額 (B - A)	△7,699	1,199	1,132	6,283	
増減率 (%)	△12.6	52.2	45.3	369.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	40,605	3,077	3,301	2,273	49.17

※ 注記事項

- (1) ご参考として記載した前期第2四半期実績(2019年3月期第2四半期)は経営統合前の新興プランテック株式会社の数値となっております。

2. 2020 年 3 月期通期業績予想の修正（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）

（1）連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	140,000	6,300	6,550	4,200	77.53
今回修正予想（B）	140,000	7,500	7,650	10,250	189.23
増減額（B－A）	0	1,200	1,100	6,050	
増減率（％）	0.0	19.0	16.8	144.0	
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	97,331	7,683	7,939	5,225	113.03

（2）個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	132,000	5,400	5,650	3,750	69.22
今回修正予想（B）	132,000	6,800	6,950	10,150	187.38
増減額（B－A）	0	1,400	1,300	6,400	
増減率（％）	0.0	25.9	23.0	170.7	
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	89,597	6,518	6,924	4,703	101.74

※ 注記事項

- （1）ご参考として記載した前期実績（2019 年 3 月期）は経営統合前の新興プランテック株式会社の数値となっております。

3. 差異および修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間においては、完成工事高については、経営統合にともない会計処理方法の統一を図る中で個別工事の売上基準の適用について精査した結果、売上計上が第 3 四半期以降となった案件があったことや、第 2 四半期連結累計期間に完工を見込んでいた案件が第 3 四半期以降の完工となったことなどにより、前回発表予想値を下回りました。

損益面では、当初、定期修理工事の集中による人手不足や労務単価の上昇圧力、材料価格の上昇の影響などにより、厳しい環境を予想しておりましたが、直接工事費の原価低減、経費の継続的削減などにより収益の確保に努めた結果、各利益において前回発表予想値を上回りました。

あわせて、経営統合により負ののれんの発生にともない特別利益に計上したことから、連結、個別の四半期純利益は大幅に増加いたしました。

また、通期業績予想につきましては、2019 年 9 月 26 日公表の予想値に対し、完成工事高の修正はありませんが、収益面においては、個別工事での収益や継続的な原価低減の取り組みなどにより、連結、個別業績とも前回発表予想を上回る見込みです。

- （注）今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上